

- * Current Status and Future Trends of Automotive Application of Stainless Steel
S. HISAMATSU, Isuzu Motors Ltd., JAPAN
- * Stainless Steel and Related Materials in Electronics
A. NAKAMURA and K. CHINO, Sumitomo Metal Mining

- Co., Ltd., JAPAN
- 3) Evening Lecture
* Sculpture as One of the Factors Composing Urban Image
Yoshikuni IIDA, JAPAN (Sculptor)

鉄鋼技術情報センター

鉄鋼技術情報センター新着 PROCEEDINGS 下記資料の照会先：鉄鋼技術情報センター 電話 03-3241-1228

受入 No.	PROCEEDINGS 名	開催地	開催月日	SPONSOR 名
1128	PACON 90 Fourth Pacific Congress on Marine Science and Technology Vol. 1, 2	Tokyo	90. 7. 6	PACON International
1129	Advanced Technology in Welding, Materials Processing and Evaluation	Tokyo	90. 4.17	溶接学会
1130	11th International Corrosion Congress	Florence	90. 4. 2	Associazione Italiana di Metallurgia
1131	HSLA Steels '90 Extended Abstracts	Beijing	90.10.28	Chinese Soc. of Metals
1132	29 ^{emes} Journees du Cercle D'Etudes des Metaux	Saint-Etienne	90. 4.24	Cercle D'Etudes des Metaux
1133	Fatigue des Composites a Matrice Metallique et des Multi-materiaux	Paris	90. 6.12	French Metallurgical Soc.
1134	CCC '90 Proc. of the 5th International Continuous Casting Conference	Linz	90. 6.18	Voest-Alpine Industrien-lagenbau
1135	Advanced Metallizations in Microelectronics Vol. 181	San Francisco	90. 4.16	Materials Research Society
1136	Intermetallic Matrix Composites Vol. 194	San Francisco	90. 4.18	Materials Research Society

ISO 幹事国活動

1. 国際規格発行に関する進捗状況

- (1) ISO 規格が発行されたもの：1 件
ISO 10153 (SC 1)：ほう素-クルクミン吸光光度法
- (2) DIS が登録されたもの：2 件
DIS 683-15 (SC 4)：バルブ用鋼
DIS 10714 (SC 1)：りん-バナドモリブデン酸塩吸光光度法

2. ISO 中央事務局関係

- 今回の湾岸戦争関連として中央事務局より
- ① 予定している会議を中止するか否かは TC/SC の議長、事務局が判断して決めてほしい
- ② 会議を開催する場合はその予定につき情報管理を行うなど安全に配慮することとの連絡があった。

3. TC 17 (鉄鋼) 関係

- (1) 第 17 回 TC 17 総会の議題案について、2 月 8 日の TC 17 諮問部会にて当事務局案を審議願った。
- (2) 前月村山コンビナーより提出された WG 20 としての最終ドラフトをもとに、当事務局にてフランス語版テキストを作成し、DIS 登録の賛否を問う

投票のため TC 17 Pメンバーへ送付した。投票期限 1991.4.30。

- (3) 2 月にデュッセルドルフで開催される予定であった SC 4 国際会議 (SC 4/SC 10 合同会議含む) は延期するとの連絡が SC 4 議長よりあった。理由は湾岸情勢を考慮したため。

- (4) 次回 SC 19 会議 (6 月開催) の議題につき下記のコメントを提出した。

① ISO 6758, ISO 6759 熱交換器用継目無し及び溶接鋼管の改正；圧力用途用鋼管規格 (ISO 9329, ISO 9330), 寸法規格 (ISO 4200), 寸法許容差規格 (ISO 5252) の組合せで熱交換器用鋼管の要求事項を満たすことを指摘し、ISO 6758, ISO 6759 の必要性自体を検討するよう要請した。

② 遠心鑄造鋼管規格の作成；遠心鑄造鋼管の規格作成を TC 17/SC 19 の作業対象として取り上げる場合には TC 17/SC 11 (鑄鋼) の了解が必要と指摘した。さらに TC 17/SC 19 の Area of work の見直しの事前検討も要請した。

4. TC 17/SC 1 (化学成分分析) 関係

- (1) Publication stage (stage 5)
ISO 10153 (B-吸光光度法) が出版された。(1991.1.15)

「ISO 10153 : 1991 鋼-ほう素含有率の定量-クロクミン吸光光度法」の概要; この方法は鋼中に 0.0005~0.012% (m/m) 含有するほう素の定量に適用するもので、鉄共存のまま酢酸緩衝溶液中でクロクミン試薬とほう素の発色錯体を生成させ、545 nm における吸光度を測定する吸光光度法である。

この方法に対応する JIS: この ISO 10153 を基本にして発色条件を改善し、分析精度の向上と分析所要時間の短縮を計った改訂案が共同研究会鉄鋼分析部会で作成され、工業技術院に提出済である。なお、この JIS 改訂案を近く ISO 10153 の改訂に結びつけるよう考慮中である。

(2) Approval stage (stage 4)

CD 10697-1 (sol. Ca-原子吸光法): DIS の 6 か月 Voting が開始された。(1991.1.24)

(3) 「ICP ガイドライン」検討合同会議が開催され、その決議にもとづき改訂版を作成中。(開催日: 1991.1.30, 主催 AFNOR/Paris, 出席者数: ヨーロッパ勢のみ 11 名)

ISO/TC 17/SC 1/WG 12 「鉄鋼」

ISO/TC 155/SC 4/WG 7 「ニッケル合金」

ISO/TC 102/SC 2/WG 30 「鉄鉱石」

5. TC 67/SC 5 (油井管) 関係

(1) TC 67 組織の Ratification と第 1 回国際会議
中央事務局より前回 TC 67 総会で決定の TC 67 Title, Scope 及び Sub-committee structure の Ratification は 3 月の TB 会議まで遅れるとの連絡があった。しかし、第 1 回 TC 67/SC 5 国際会議は TC 67 総会が中止されない限り、予定通り 6 月に開催することを考えている。

(2) TC 67/SC 5 のメンバー構成

1 月末現在にて下記の国が TC 67/SC 5 への参加を表明している。

P-メンバー: フランス, ドイツ, イタリア, 日本, オランダ, ノルウェー, 英国, 米国

O-メンバー: オーストリア, バルバドス, エジプト, ポーランド, スウェーデン

(3) 第 1 回 TC 67/SC 5 会議の準備状況

TC 67/SC 5 諮問部会 (1 月 23 日開催) で下記の点を討議した。

① Draft agenda の内容の検討

② API 5CT, 5D の ISO 規格化の問題点の整理

(a) SI 単位化の進め方

機械的性質-3 桁整数に丸める

寸法関係-整数丸めは行わない

(b) Reference standards の取扱い

基本的に同等の ISO 規格に置き換える方向で検討する。

6. 国際会議 (向こう 3 か月間の予定)

(1) TC 17/SC 20 (出荷条件)

1991 年 4 月 24~26 日, デュッセルドルフ

(2) TC 17/SC 19 (鋼管)

1991 年 6 月 5~7 日, ミラノ

お知らせ

平成 3 年秋季講演大会は下記により開催されることになりましたのでお知らせいたします。

会 期 平成 3 年 10 月 1 日 (火), 2 日 (水),
3 日 (木)

場 所 広島大学
(〒730 広島市中区東千田町 1-1-89)

●受賞報告●

本会では、関連学協会からの依頼による各賞の候補者を関係者より推薦いただき、表彰奨励推薦分科会、理事会の承認を得て各学協会へ推薦いたしております。

本年 2 月に下記の賞の受賞が決定いたしましたのでお知らせいたします。

1) 大河内記念生産特賞

「H 型鋼の高効率自在形成技術の開発」

新日本製鐵(株)

川崎製鐵(株)

2) 大河内記念技術賞

「高炉用新塊成鉄製造技術の開発」

日本鋼管(株)

3) 東レ科学技術研究助成

「電子ビーム溶解を用いたチタンの新製造法」

東京大学 前田 正史

